

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	市民基盤の政策形成の仕組みづくり：市民自治に向けて				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	津富 宏
	研究分担者	所属・職名	沼津市民シンクタンク創設実行委員会・オーガナイザー	氏名	小和田 尚子
		所属・職名	沼津市民シンクタンク創設実行委員会・コーディネーター 裾野市民活動センター・センター長	氏名	深野 裕士
		所属・職名	政策形成プロジェクト	氏名	山田 久美子
		所属・職名	政策形成プロジェクト	氏名	古賀 琢磨
		所属・職名	短期大学部・准教授	氏名	中澤 秀一
		所属・職名	静岡大学	氏名	池田 恵子
		所属・職名	静岡大学	氏名	山本 崇記
発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	津富 宏	

講演題目	市民自治に向けて、私たちのできること
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>目的 我が国においては、市民が直接、政策形成に関与する機会はほとんどない。そこで、市民が直接、政策形成に関与する機会をつくりだすため、沼津市において研究代表者が関与している「沼津市民シンクタンク」と、静岡市において、研究代表者が同じく関与している「政策形成プロジェクト」を研究の対象とする。この取り組みを振り返り、「市民参加による政策の形成」という小冊子をまとめることを当初の目的とした。</p> <p>成果 沼津市においては、沼津市民シンクタンクの一般社団法人化に向けて、準備総会まで開催したものの、発起人の間の目的の不一致が判明し、仕切り直すことになった。その後、5人にまで発起人を絞り込み、目的の整合性を高めるために、令和4年2月～3月にかけて、ミュニパリズムをテーマとした連続セミナーを開催した。各回には20人から30人の市民が参加し、改めて、沼津市民シンクタンクの方向性を確認した。このセミナーについては、文字起こしをしてリリースしていく予定である。静岡市においては、県会議員を中心とする「政策形成プロジェクト」に運営側及び政策提案側として参加した。同プロジェクトでは、「防災への男女共同参画」と「学生の貧困」を取り上げ、県庁及び県議会へのアプローチを行った。このプロジェクトは来年度に継続するので、振り返りの機会を設けたい。</p> <p>今後の展望 沼津市での取り組みが一旦休止したため、想定通りの目的（小冊子の作成）は達成できなかったが、連続セミナーに切り替えたことで、学びをさらに深めることができた。来年度は、特段の予算は申請していないが、所期の目的を達成していきたい。</p>